

今の結婚に満足？ 夫/妻に「愛」はある？

既婚者 約560人に
夫婦関係をアンケート

ロマンチックラブイデオロギー調査 第7報

レゾンドートル株式会社 ©2025



今の結婚に満足している？ 夫/妻に「愛」はある？—— 約 560 人の既婚者に夫婦関係をアンケート調査

ロマンチックラブイデオロギー調査（第7報）

結婚と愛情の関係を分析するアンケート調査（ロマンチックラブイデオロギー調査）の第7報です。これまでの調査で、令和の現在も「恋愛結婚が理想」と考える男女が多いこと、しかし半数の人は結婚後、10年以内にパートナーへの恋愛感情がなくなってしまうことなどが明らかになりました。

そこで、20～50代の既婚男女 559人に、単刀直入に聞きました。

「あなたは今の結婚に満足していますか？」

「配偶者に愛はありますか？」

「配偶者からの愛を感じますか？」

不仲、離婚、セックスレス、不倫や婚外恋愛など、世間では様々な問題が湧き起こっているように見える令和の夫婦関係ですが、果たして実態はどうなのでしょう。

<調査概要>

- ・調査タイトル：ロマンチックラブイデオロギー調査 第7報
- ・調査期間：2024年12月19日～30日、2025年6月23日～6月30日

- ・調査対象者：20～59歳の既婚男女 559人
- ・調査方法：インターネット（セルフ型アンケートツール [Freeasy](#) を利用）
- ・エリア：全国
- ・調査機関：レゾンデートル株式会社 (<https://raisondetre-inc.co.jp/>)
- ・調査報告の掲載：既婚者の男女関係に関する調査 (<https://healmate.jp/survey/>)
- ・本報告の発表日：2025年7月10日

＜調査対象者について＞

下表の通り男女、各年代ともおおむね均等なサンプルになっています。

	男性（279人）	女性（280人）
20代	69人（24.7%）	70人（25.0%）
30代	70人（25.1%）	70人（25.0%）
40代	70人（25.1%）	70人（25.0%）
50代	70人（25.1%）	70人（25.0%）

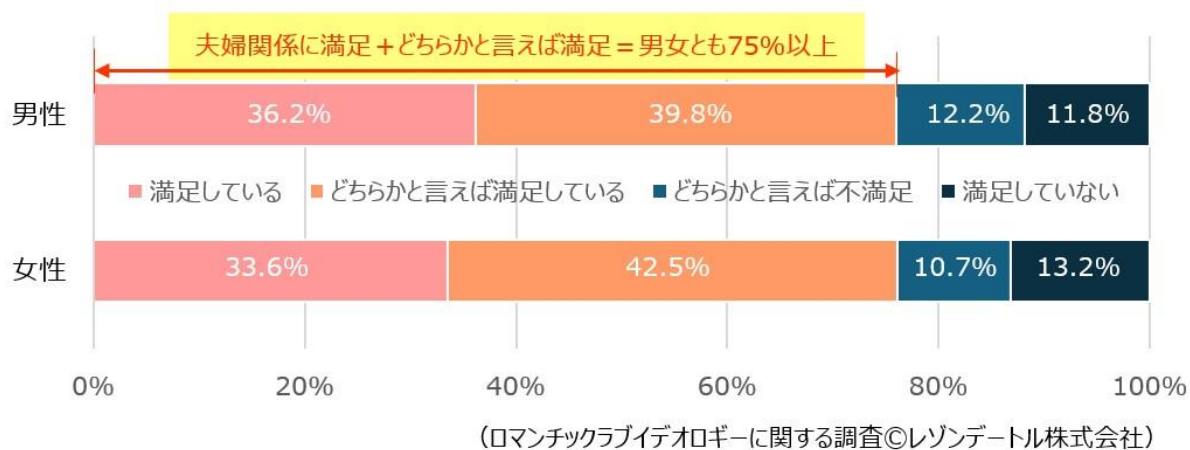
回答者は全都道府県におおむね人口と相関する形で分布しており地域的な偏りはありません。

1) 結婚に満足していますか？

全国の20～59歳既婚男女559人に、「現在の結婚に満足しているか？」を尋ねたところ、次の結果となりました。意外なほど結婚満足度は高く、「満足している」と「どちらかと言えば満足している」を合わせた割合は、男性が76.0%、女性は76.1%に上ります。

現在の結婚に満足していますか？

〔対象者〕 20～59歳既婚者559人（男性279人、女性280人）

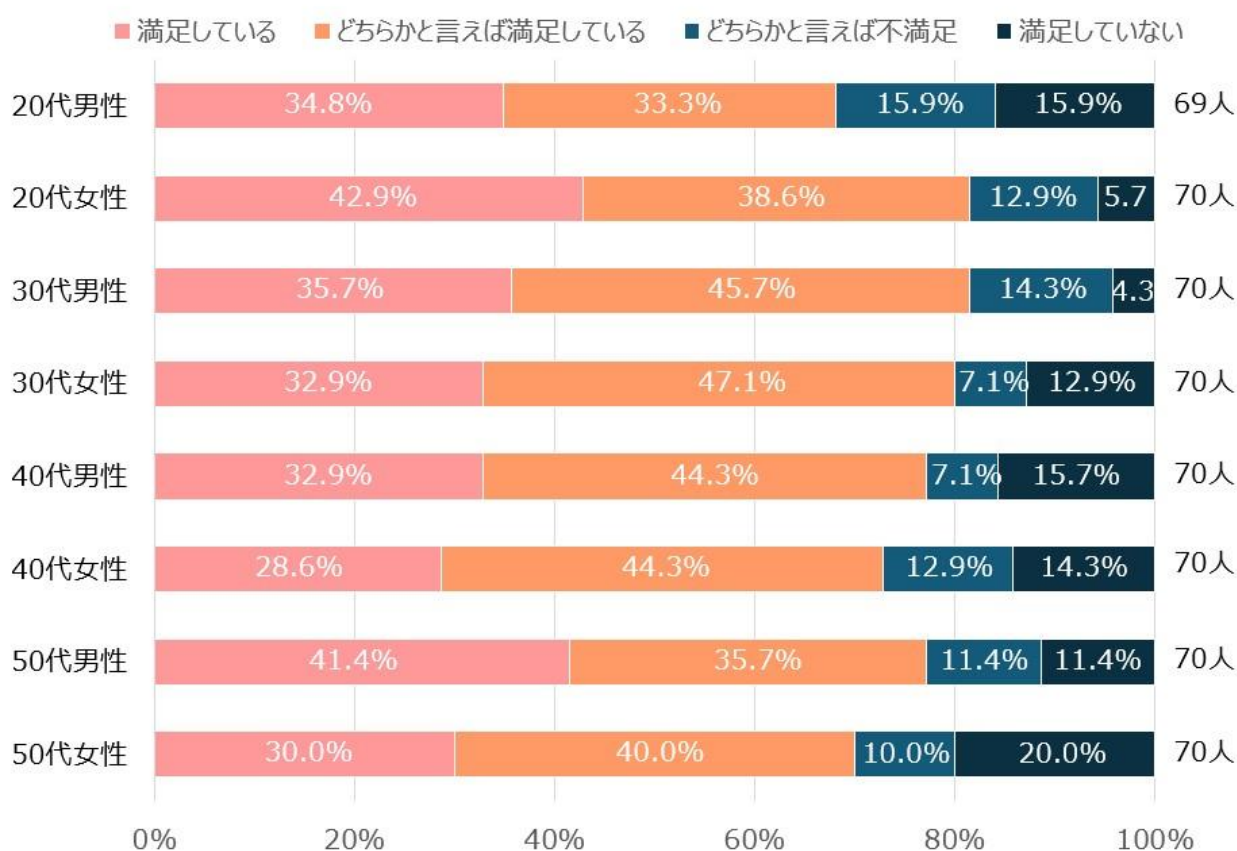


サンプル数や男女の差の小ささなどを見ると、妥当性の高い結果といえます。巷では、結婚や夫婦関係に関する否定的な情報ばかりが氾濫しているようにみえますが、**多くの人は自分の結婚生活に満足している**というのが実態なのでしょう。マスコミやインターネットでは、事件やトラブル、深刻な悩み、不満など、否定的な情報ばかりが大きく露出する傾向があるため、かなり割り引いて理解する必要があります。

調査対象は 20～50 代と年齢に幅があり、当然、結婚年数もまちまちです。そこで、年代別にみると次の結果になりました。

現在の結婚に満足していますか？

[対象者] 20～59歳既婚者559人（男性279人、女性280人）

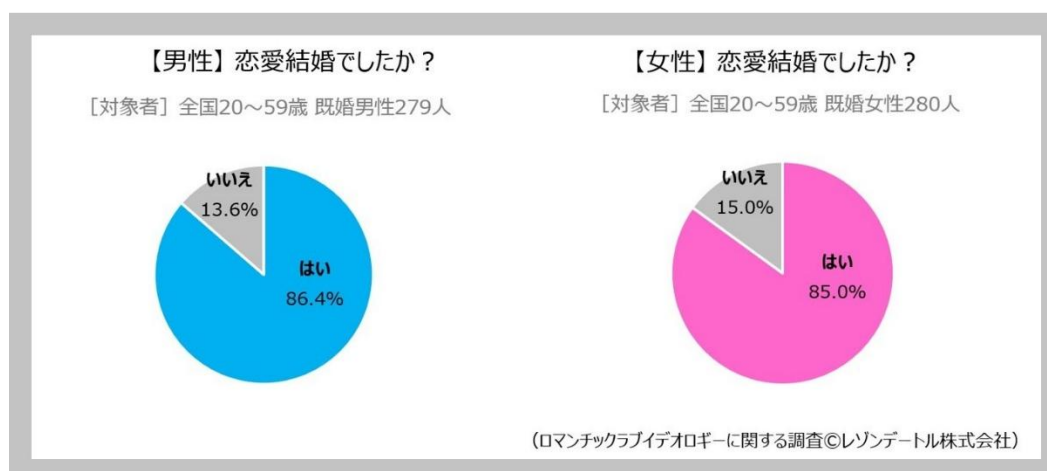


(ロマンチッククラブイデオロギーに関する調査©レゾンドール株式会社)

年代に関わらず結婚満足度は高いということが分かります。20代男性の「満足している」と「どちらかと言えば満足している」の合計が 68.1%とやや低いですが、結婚すると男性の多くは生活費負担が重くなるため、独身時代のように自由にお金を使えなくなります。20代ですと、まだ年収は低く、交友や趣味にお金を使いたい盛りでもあるため、不満がたまりやすいといえるかもしれません。

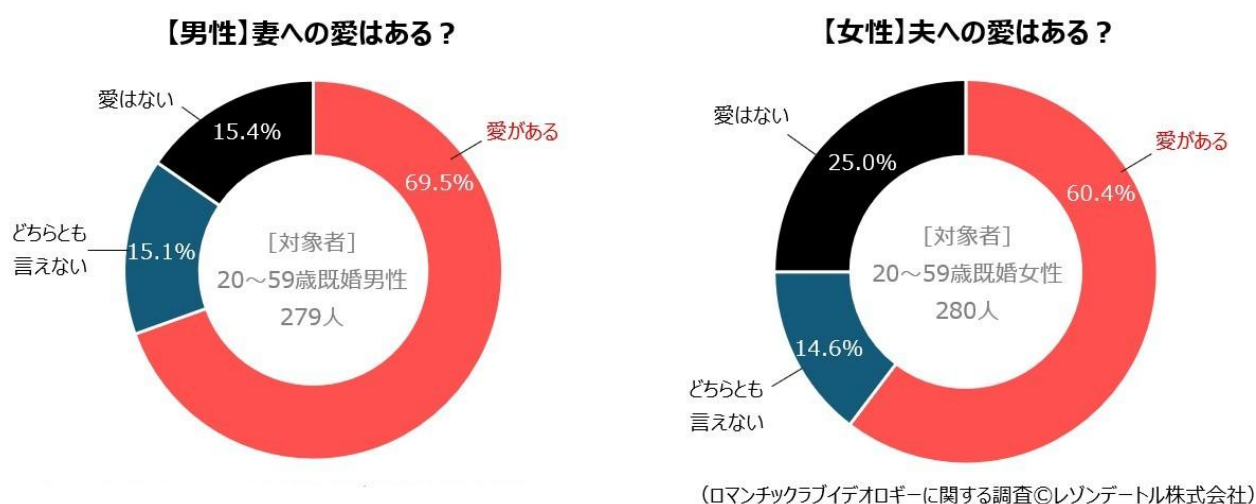
2)配偶者に愛はある？

「結婚後、いつまで妻/夫に恋愛感情が続いた？いつ冷めた？—ロマンチックラブイデオロギー調査 第4報」（ヒールメイト調べ）で、既婚者 559 人に「恋愛結婚だったか？」を尋ねたところ、8 割以上が恋愛結婚と回答しました。最初は「好き」で結婚したカップルが大部分と言えます。



そして、同調査では半数程度が、結婚後 10 年以内に「配偶者への恋愛感情がなくなった」と回答しています。しかし、恋愛感情＝愛ではなく、男女としての愛はなくなったとしても、夫婦愛や家族愛などに昇華できていれば、夫婦関係は別の形に発展したともいえるでしょう。

そこで、単刀直入に「愛があるか？」を尋ねたところ、次の結果になりました。

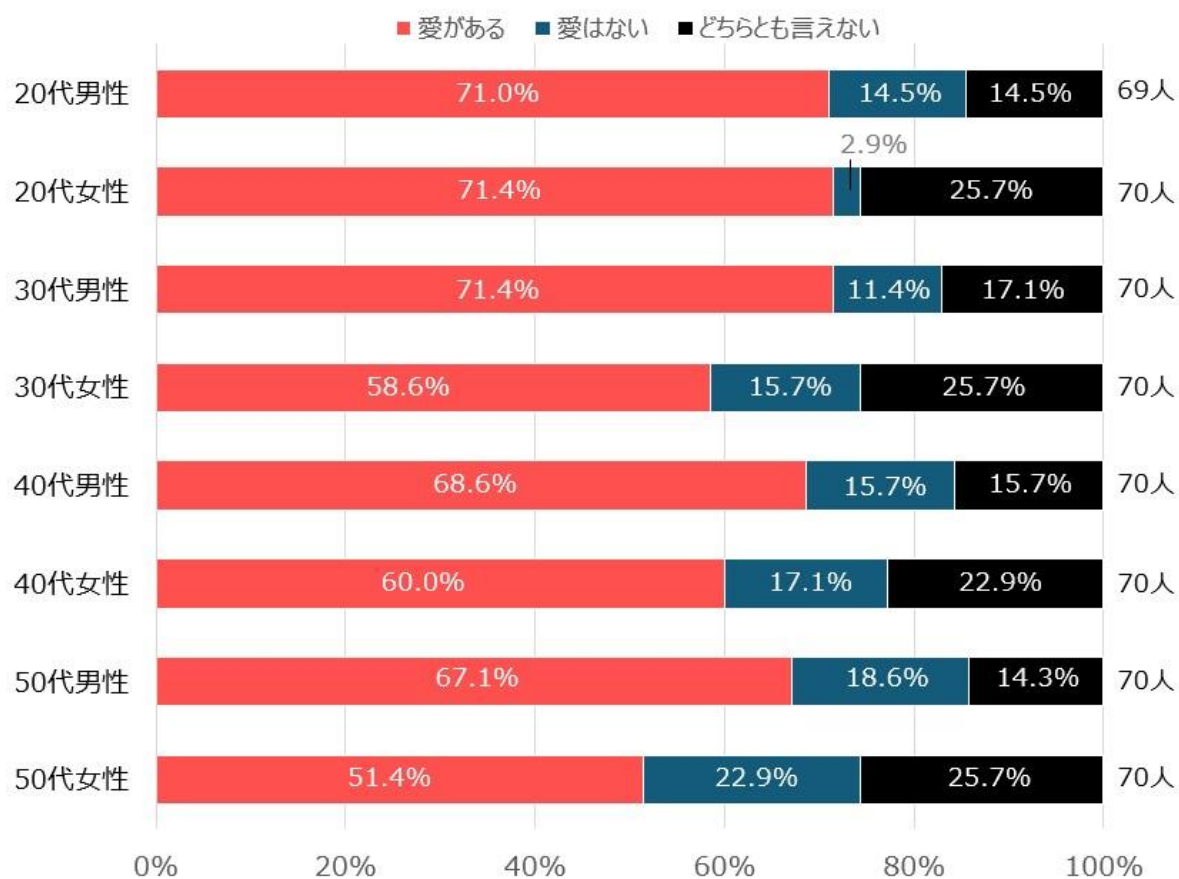


「愛がある」と回答する既婚者が 6 割以上と、令和夫婦の予想以上の繋がりを感じます。やはり世間のかまびすしくても、多くの夫婦は愛を育んでいるといえそうです。少々気になるのが男女差で、女

性は4人に1人が「愛はない」と断言しています。男性よりも10ポイント高い結果です。年代別にみると、男女差の答えがあるかもしれないので、見てみましょう。

妻/夫に「愛」はある？

〔対象者〕20～59歳既婚者559人（男性279人、女性280人）

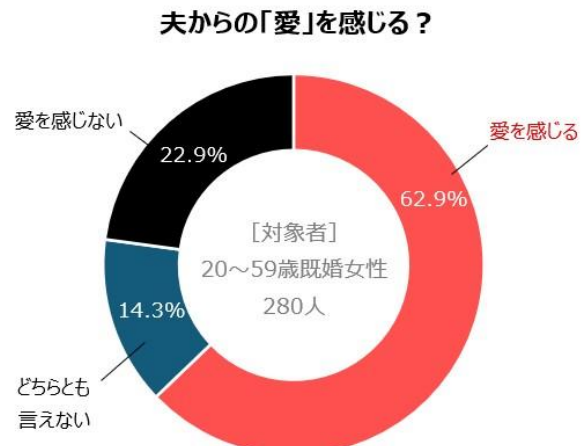
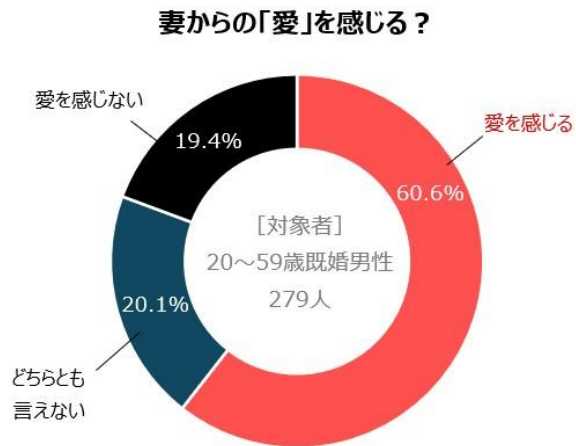


（ロマンチックラブイデオロギーに関する調査©レゾナード株式会社）

女性は20代から「夫への愛がない」と回答する割合が約4人に1人と変わりません。結婚後に夫の態度が変わった、家事をしない、生活費が少ない、裏切られたなど、様々な事情がありそうです。一方で、変化するのは「どちらとも言えない」との回答。30代から増える一方ですが、ちょうど子どもが生まれて育児が大変になる時期から増えているため、夫の育児参加やワンオペレーションへの不満などが背景にありそうです。

3)配偶者からの愛を感じる？

今度は、夫や妻から「愛されている」と感じるかを尋ねてみました。



(ロマンチックラビデオロジーに関する調査©レゾナード株式会社)

「配偶者への愛があるか？」の回答結果と大きな違いはありませんが、「夫に愛がある」と回答した女性の割合と、妻からの愛を感じると回答した男性の割合は約 60%とほぼ等しいのに対し、逆のパターンでは「夫からの愛を感じる」女性が 7 ポイント低い結果となっています。一部の男性の愛情は妻には伝わっていないようです。

4) 今回のまとめ

今回の調査により、令和日本の夫婦関係は意外に強固であることが判明しました。75%以上、つまり 4 人に 3 人の既婚者は自分の結婚に満足しています。また、6 割以上の既婚者がパートナーに愛があり、パートナーからの愛も感じていることが分かりました。

男は外で仕事、女は家庭と言われた昭和の時代から、令和 7 年現在、7 割以上が共働き世帯となっています。この間、夫婦の役割分担に関するゆらぎが起こり、1990 年からは離婚件数が急上昇して夫婦の危機が指摘された時期もありました（2002 年がピーク）。その後も、家事や育児のシェアやワンオペレーションなどが問題になり、昨今では 5 割を超えるとされるセックスレスが夫婦間の問題としてクローズアップされています。加えて、世上では芸能人や著名人の不倫問題がニュースを騒がせ続けている現状です。それにもかかわらず、一般的な夫婦の深い絆を構築できている実態が分かりました。結婚に後ろ向きな若者が多いと言われてはいますが、ぜひ今回の結果に目をとどめていただければと思います。



5) 今回の使用データ

表1 「あなたは現在の結婚に満足していますか？」の回答結果

年代	性別	満足している	どちらかと言えば満足している	どちらかと言えば満足していない	生まれなかった
全体	男性 [279 人]	101 人 (36.2%)	111 人 (39.8%)	34 人 (12.2%)	33 人 (11.8%)
	女性 [280 人]	94 人 (33.6%)	119 人 (42.5%)	30 人 (10.7%)	37 人 (13.2%)
20 代	男性 [69 人]	24 人 (34.8%)	23 人 (33.3%)	11 人 (15.9%)	11 人 (15.9%)
	女性 [70 人]	30 人 (42.9%)	27 人 (38.6%)	9 人 (12.9%)	4 人 (5.7%)
30 代	男性 [70 人]	25 人 (35.7%)	32 人 (45.7%)	10 人 (14.3%)	3 人 (4.3%)
	女性 [70 人]	23 人 (32.9%)	33 人 (47.1%)	5 人 (7.1%)	9 人 (12.9%)
40 代	男性 [70 人]	23 人 (32.9%)	31 人 (44.3%)	5 人 (7.1%)	11 人 (15.7%)
	女性 [70 人]	20 人 (28.6%)	31 人 (44.3%)	9 人 (12.9%)	10 人 (14.3%)
50 代	男性 [70 人]	29 人 (41.4%)	25 人 (35.7%)	8 人 (11.4%)	8 人 (11.4%)
	女性 [70 人]	21 人 (30.0%)	28 人 (40.0%)	7 人 (10.0%)	14 人 (20.0%)

表2 「いま現在、配偶者に『愛』はありますか？」の回答結果

年代	性別	ある	ない	どちらとも言えない
全体	男性 [279 人]	194 人 (69.5%)	42 人 (15.1%)	43 人 (15.4%)
	女性 [280 人]	169 人 (60.4%)	41 人 (14.6%)	70 人 (25.0%)
20 代	男性 [69 人]	49 人 (71.0%)	10 人 (14.5%)	10 人 (14.5%)
	女性 [70 人]	50 人 (71.4%)	2 人 (2.9%)	18 人 (25.7%)
30 代	男性 [70 人]	50 人 (71.4%)	8 人 (11.4%)	12 人 (17.1%)
	女性 [70 人]	41 人 (58.6%)	11 人 (15.7%)	18 人 (25.7%)
40 代	男性 [70 人]	48 人 (68.6%)	11 人 (15.7%)	11 人 (15.7%)
	女性 [70 人]	42 人 (60.0%)	12 人 (17.1%)	16 人 (22.9%)
50 代	男性 [70 人]	47 人 (67.1%)	13 人 (18.6%)	10 人 (14.3%)
	女性 [70 人]	36 人 (51.4%)	16 人 (22.9%)	18 人 (25.7%)

表3 「配偶者からの『愛』を感じますか？」の回答結果

年代	性別	感じる	感じない	どちらとも言えない
全体	男性 [279 人]	169 人 (60.6%)	56 人 (20.1%)	54 人 (19.4%)
	女性 [280 人]	176 人 (62.9%)	40 人 (14.3%)	64 人 (22.9%)
20 代	男性 [69 人]	41 人 (59.4%)	11 人 (15.9%)	17 人 (24.6%)
	女性 [70 人]	52 人 (74.3%)	6 人 (8.6%)	12 人 (17.1%)
30 代	男性 [70 人]	41 人 (58.6%)	14 人 (20.0%)	15 人 (21.4%)
	女性 [70 人]	44 人 (62.9%)	9 人 (12.9%)	17 人 (24.3%)

40 代	男性 [70 人]	42 人 (60.0%)	15 人 (21.4%)	13 人 (18.6%)
	女性 [70 人]	43 人 (61.4%)	11 人 (15.7%)	16 人 (22.9%)
50 代	男性 [70 人]	45 人 (64.3%)	16 人 (22.9%)	9 人 (12.9%)
	女性 [70 人]	37 人 (52.9%)	14 人 (20.0%)	19 人 (27.1%)

◎調査の目的

私どもレゾンデートル株式会社（東京都新宿区）は、「結婚後の新たな生き方」を提案する既婚者向けメディアやネットサービスの展開を行うシステム開発企業です。現代の夫婦関係のあり方や多様性を把握し、今後のサービス開発に向けた市場動向を探るため、今回の調査を企画しました。

◎調査内容・本リリースに関するお問い合わせ

今回の調査内容やデータの詳細に関するお問い合わせ、報道関係の皆様取材依頼やお問い合わせは下記までお願い申し上げます。

レゾンデートル株式会社 (<https://raisondetre-inc.co.jp/>)

〒160-0022 東京都新宿区新宿 4-3-15 レイフラット新宿 B 棟 3F

問い合わせアドレス : urano@raisondetre-inc.co.jp

担当：浦野圭介